

令和5年度 県立高校グローバルリーダー育成プロジェクト

1 事業内容

趣 旨	「アジアの中の日本」を意識し、グローバル・ローカルの両視点から、英語での発信力・交渉力・論理的思考力を鍛え、未来のグローバル日本社会を創造するリーダーの育成を図る。
国内 プログラム	<p>第1回 7月15日(土) 開講式 伝統文化理解研修(講師:教育局国際交流員 スティーブン・スアレス)</p> <p>第2回 8月7日(月) 英語集中研修(講師:教育局国際交流員 スティーブン・スアレス)</p> <p>第3回 8月22日(火) 午後:①シンガポール現地レポート(クレア・シンガポール事務所) ②校友会との交流会</p> <p>第4回 9月16日(土) 模擬国連ワークショップ① 講師:東京大学 中村長史特任講師</p> <p>第5回 10月7日(土) 午前:グローバル人材育成講演会 講師:コンサルティングフェロー 竹内舞子氏 午後:オンラインによる留学体験研修</p> <p>第6回 10月28日(土) 模擬国連ワークショップ② 講師:東京大学 中村長史特任講師</p> <p>第7回 11月4日(土) 模擬国連ワークショップ③ 講師:東京大学 中村長史特任講師</p> <p>第8回 11月25日(土) シンガポール大使館訪問</p> <p>第9回 12月16日(土) 直前説明会及び壮行会</p>
参加者	<p>・1学年 9名 ・2学年 31名 ・男子 12名 ・女子 28名 ・合計40名 (県立高校20校)</p>

2 プログラム概要(国内研修)

第1回 7月15日(土)開講式	14:00~16:00【埼玉会館】
○開講式 教育委員会挨拶(県立学校部長 青木 孝夫)	
○趣旨説明(高校教育指導課主幹兼主任指導主事 渡部 剛)	
○講義 異文化交流(日本の伝統文化理解研修) 講師:スティーブン・スアレス(教育局国際交流員)	

第2回 8月7日(月)英語集中研修	10:00~16:30【県民健康センター】
○講師:教育局国際交流員 スティーブン スアレス)	
○ワークショップ ・自己紹介、グループディスカッション、英語劇、イディオムについて	



第3回 8月22日(火) シンガポール現地リポート及び校友会交流会	10:00~16:30 【オンライン実施】
○講師:教育局国際交流員 スティーブン・スアレス)	
午後:①シンガポール現地リポート(自治体国際化協会・シンガポール事務所) ②校友会との交流会	



第4回 9月16日(土) 模擬国連ワークショップ①

9:30~16:30【彩の国すこやかプラザ】

○講師:東京大学 中村長史 特任講師

○テーマ「イラク危機」

○議題概説、会議準備(担当国ごと=Policy Paper 作成)・会議



第5回 10月7日(土)グローバル人材育成講演会及びオンラインによる留学体験研修

10:00~16:00 【オンライン実施】

○午前:グローバル人材育成講演会

講師:コンサルティングフェロー 竹内舞子氏

演題「一歩を踏み出す 自分を信じる

—グローバルリーダーとしてはばたくために」

○午後:オンラインによる留学体験研修

講師 名合 史子氏 他3名 (留学フェローシップ)

模擬授業① 模擬授業②(心理学・人類学・社会学・歴史学)



第6回 10月28日(土)模擬国連ワークショップ②

9:30~16:30【彩の国すこやかプラザ】

○講師:東京大学 中村長史 特任講師
○テーマ「イラク危機」
会議、大学紹介



第7回 11月4日(土)模擬国連ワークショップ③

9:30~16:30【彩の国すこやかプラザ】

○講師:東京大学 中村長史 特任講師
○テーマ「イラク危機」
会議、振り返り(担当国の視点・一個人の視点)、大学紹介



第8回 11月25日(土) シンガポール大使館訪問

9:30~10:00【在京シンガポール大使館】

・ダレル・チュア参事官によるプレゼンテーションと質疑応答
・写真撮影



第9回 12月16日(土) 直前説明会、壮行会

10:00～11:30【県民健康センター】

- 直前説保護者説明会
- 壮行会 激励(県立学校部副部長 田中 邦典)
- 生徒による決意表明



3 プログラム概要(海外研修)

第1日 令和6年1月13日(土)

地名	時間	主な日程
成田空港	7:15	成田空港に集合 出国手続き
	10:00	空路、シンガポールへ
シンガポール空港	16:55	シンガポール空港到着、入国手続き
シンガポール	18:30	シンガポール空港出発 専用バスでホテルロイヤルへ
	19:00	ホテルロイヤル到着 20:30～会議室でブリーフィング

いよいよシンガポール派遣当日。少し緊張した面持ちで成田空港に集合。保護者の方々に見送られながら写真撮影、出国手続きを済ませました。

初めて飛行機に搭乗する生徒も多く、離陸した瞬間の「うわぁ！」という歓声と共に、これからのシンガポールでの滞在への期待を膨らませながらシンガポールへ出発しました。空港に到着後、ホテルへ向かい、豪華な夕食とブリーフィング。本格的な旅の始まりを感じさせられる1日となりました。



第2日 令和6年1月14日(日)

地名	時間	主な日程
ホテ	8:50	ホテルロビー集合・電車で移動
シンガポール市内	9:40	ガーデンズバイザベイ見学
フードコート	11:30	昼食
ニューウォーター	14:00	ニューウォーターについて学ぶ
ビジネスセンター		
マリーナバレージ	16:00	見学
ホテル	18:00	夕食

今日はシンガポール市内のフィールドワークで、朝から皆ワクワクしたような顔つきで集まりました。電車に乗り、ガーデンズバイザベイに着き、見学をした後、自由時間ということになりました。お昼は市内のフードコートで食べ、集まった後、ニューウォータービジネスセンターとマリーナバレージに向かいました。そこで、ニューウォーターとは何なのか、シンガポールの環境問題の現状、歴史など様々なことを学びました。1日が終わりホテルに着くと、皆の疲れた様子も見られましたが、充実した1日であったとひと目でわかる顔つきをしていました。



第3日 令和6年1月15日(月)

地名	時間	主な日程
ホテル	07:00	朝食
大学到着	09:00	シンガポール国立大学(NUS)にて授業(9:00~17:00) 昼食:大学内の学食を利用
夕食	17:50	市内レストラン
ホテル	19:00	ホテル到着、振り返り・発表(19:30~21:00)

NUSにてシンガポールの水問題についての授業を受け、シンガポールの水問題の、そしてその解決策について学びました。昼食は大学内の学食を利用し、様々な国の料理が提供され、多国籍国家であるシンガポールならではの食堂でした。午後は班ごとにプレゼンを行い、どの班も授業で習ったことを発展させ、自分たちなりのユニークなアイデアとして発表をしました。夕食は市内のレストランにて、その後ホテルへ戻り大学で学んだことの復習、発展課題に取り組みました。初回の授業でしたが、各自協力し合って真剣に課題に取り組み、積極的に発言する姿勢が多く見受けられました。



第4日 令和6年1月16日(火)

地名	時間	主な日程
ホテル	8:45	ロビー集合、大学生と合流、出発
マーライオン公園	10:00	散策
シンガポール国立博物館	10:45	見学
ラッパサフードセンター	12:00	見学、昼食
アラブ人街	13:40	モスク見学
リトルインディア	16:00	散策

朝からあいにくの雨でしたが、マーライオン公園は多くの人で賑わい、シンガポールの観光業の強みを実感しました。シンガポール国立博物館では、シンガポールを象徴するような様々な国の文化を取り入れた展示品を多く見学し、中でも古代の仏像は、日本の仏像には見られない表情のものが多く、とても興味深かったです。アラブ人街では実際のモスクを見学し、どの場所も人が多く、シンガポールの人口密度の高さを感じたとともに、この狭い土地にこれだけの多様な文化が詰め込まれていることに驚きました。



第5日 令和6年1月17日(水)

地名	時間	主な日程
シンガポール	7:00	ホテル出発
マレーシア	9:00	マレーシア工科大学(UTM)(現地大学生との交流)
	12:40	プライ村(伝統的な家庭で文化体験、模擬結婚式)
シンガポール	17:00	夕食(中華料理)

UTM では多くの大学生との交流を通し、多民族国家についてのディスカッションを行いました。プライ村では各家庭でマレーシアの伝統衣装(女性:バジュクルン、男性:バジュメラユ)を着ました。多くの生徒が手で食事をした後、マンカラという伝統的な石を使ったゲームを体験しました。模擬結婚式では代表生徒がコンパンと呼ばれるハンドドラムを叩いたり、祝福の儀式に参加したりしました。日本とは大きく異なる文化を、直接体験することで学ぶことが出来ました。プライ村を出発する時、バスの車窓からサルが沢山見られたのも印象深いです。



第6日 令和6年1月18日(木)

地名	時間	主な日程
ホテル	8:30	ホテルロビー集合
SMU	9:20	SMU 到着、午前活動開始
	14:00	午後活動開始
	17:00	キャンパスツアー
シンガポールフライヤー	18:15	夕食
ホテル	19:20	ホテルロイヤル到着、振り返り

1月18日(6日目)では、Singapore Management University にて、シンガポールでの民族融和・多民族共生のための取り組みについて学びました。約半世紀ほど前のシンガポールでは民族同士の衝突が起きるほど、とても不安定な状態でした。しかし、シンガポール政府が全ての民族を平等に扱い、世俗主義的な仕組みを導入したことで、民族融和が進み、多様な文化が認められる現在のシンガポールとなったといえます。シンガポールの他にも多民族が共に暮らしている国々がありますが、その中には民族間の争いが絶えない国もあります。シンガポールでの民族融和の成功例を参考に、様々なアプローチをすることができると考えます。



第7日 令和6年1月19日(金)

地名	時間	主な日程
ホテル	8:30	ホテル発
SMU	9:00	模擬国連事前授業1
SMU 学食	12:00	各自昼食
SMU	14:00	模擬国連事前授業2
SMU	15:00	模擬国連1
市内レストラン	17:30	夕食
ホテル	19:30	模擬国連2+振り返り

この日は SMU(Singapore Management University) にて「ロシアのウクライナ侵攻」をテーマとした模擬国連を行いました。中村教授や大学生の方の協力のもと行われた国内での模擬国連研修のおかげで、英語で行うことになっても皆変わらず模擬国連の進み方を理解しており、各国の立場によって変わる話し方、表現、交渉の仕方などはグループでそれぞれの意見を共有しながらよりよい

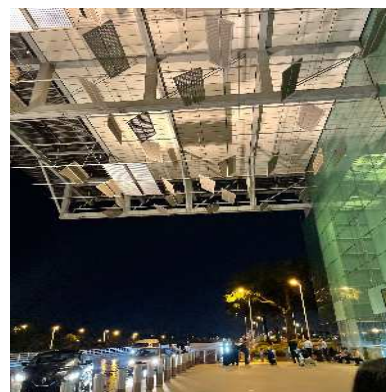


ものを選択することができ、さらに内容の濃い模擬国連を行うことができました。

今回は決議案がいくつか出たものの、それらが可決されることはありませんでした。国連で議案が可決されることの難しさを各国の立場となり、自国の問題を抱えながら他国と交渉を試みてよく認識することができました。

第8日 令和6年1月20日(土)		
地名	時間	主な日程
ホテル	05:50	ホテルロビーに集合
シンガポール空港	06:30	搭乗手続き
	08:20	空路、成田へ
成田空港	17:00	入国手続き
	18:00	解散

8日目は朝早く起きて、シンガポール空港に行き日本に帰ってくるだけでした。行きの飛行機よりも単語帳などを使って勉強をしている人が多くなり、この8日間をとおして40人がお互いにいい刺激や影響をあたえ、みんなのモチベーションがあがったことが感じられました。バスの中から見えるシンガポールの街の様子や、シンガポール空港内での自由時間などで最後にシンガポールを存分に感じ、悔いなく無事に日本へ帰ってきました。



3 生徒感想「全ての研修を終えて」(事後アンケートより一部抜粋)

○ グローバルリーダー育成プロジェクトに参加してからの数ヶ月間は、今までで1番充実していたと言ってもいいくらいのものでした。自分から色々な人にコミュニケーションを取れるようになったことが成長できたことの1つです。得られたもの、吸収できたことを思い浮かべると表しきれないですが、このプロジェクトで経験したことを通して、自分が興味のあることをさらに明確にすることができた気がします。夢につながるプロジェクトとなりました。周りのメンバーに圧倒されたり、納得いくようなプレゼンテーションができず悔しい思いをしたりしたこと、言いたいことが英語ですぐに言えずにもどかしい思いをしたことも含め、自分で見て聞いて感じたことは全て今後の人生において価値あるものになりました。また、自信にも繋がりました。「こんなことができるようになった」と振り返って終わりではなく、この経験を生かして今の自分をさらに成長させていけるように、日々高いモチベーションをもって過ごしたいと思います。そしてステップアップした自分で、またみんなと再会したいです！

○ グローバルリーダー育成プロジェクトを通して、今まで参加してきたどんな研修よりも、みんなとの「仲間」感が強かったと感じた。だからこそ、お互い刺激しあえて、高め合えたのだと感じた。私はこの研修に参加するまで、自分はこのような場での積極的な発言やコミュニケーションが得意だと思い自信を持っていたが、この研修の仲間にはより高い英語力、表現力を持つ人がたくさんいて、悔しさと同時に高め合える仲間がいる嬉しさも感じる事ができた。高い意識を持つ仲間とシンガポール国立大学やシンガポール・マネジメント大学などでの授業や模擬国連を通して一緒に活動できたことが、自分の内面への変化につながったと思った。

○ グローバルリーダー育成プロジェクトを通して、自分は世界の広さを実感し、色々な人種や色々な宗教、考えがあることを肌で感じる事ができた。単一民族国家の日本では考えもしなかったことや体験することの出来ない文化に触れ、自分の新しい価値観を与えてくれた。自分はまだ将来の夢は決まっていらないが、日本を背負い、グローバルなリーダーになるために、これからも新しいことに挑戦することを恐れない姿勢を大事にしていきたい。